

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年06月13日

計画の名称	亀山北地区の安全・安心で良好な都市環境の創造（第二期）												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	栃木県												
計画の目標	安心して快適に暮らせる居住地域の形成のため、街路整備並びに周辺環境の整備を実施する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,033	A	3,033	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(H33末)
1	地区内の基盤整備による安全で良好な住宅地の供給により、人口の定着を図る。 亀山北地区における人口を測定する。	1351人	1371人	1392人
2	地区内の基盤整備による防災機能の向上により、災害時の避難場所を確保する。 亀山北地区の災害時において、一時的に避難することができる人数を算出する。 (避難可能人数) = (整備済公園面積) ÷ (一人当たり避難時必要面積)	2000人	2300人	3000人
3	地区内の基盤整備による安全で良好な住宅地の供給により、人口の定着を図る。 中郷・萩田地区における人口を測定する。	207人	210人	213人
4	地区内の基盤整備による防災機能の向上により、災害時の避難場所を確保する。 中郷・萩田地区の災害時において、一時的に避難することができる人数を算出する。 (避難可能人数) = (整備済公園面積) ÷ (一人当たり避難時必要面積)	0人	500人	1000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	栃木県	間接	真岡市亀山 北土地区画 整理組合	区画	改築	亀山北地区((都)亀山 八木岡線外)	区画整理 49.7ha	真岡市						1,668		-	
	A01-002	街路	一般	栃木県	間接	真岡市中郷 ・萩田土地 区画整理組 合	区画	改築	中郷・萩田地区((都) 中郷八木岡線外)	区画整理 17.1ha	真岡市						1,365		-	
	別計画からの移行																			
												小計						3,033		
											合計							3,033		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体である真岡市亀山北土地区画整理組合及び真岡市中郷・萩田土地区画整理組合にて評価を実施。	令和5年度
	公表の方法 栃木県ホームページにおいて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	土地区画整理事業による基盤整備により、良好な住宅環境に加え、防災機能の向上による安全・安心な住宅街区を創出したことで、地区内人口が増加した。 また、災害時の一時的な避難場所も確保することも出来つつある。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業に伴う都市計画道路の整備により、一般国道408号バイパスへのアクセス時間の短縮が図れることに加え、地区内に商業施設や病院などができ交通量が増加するなか、安全で良好な交通環境を創出することができた。 ・土地区画整理事業に伴う都市計画道路の整備により、芳賀赤十字病院へのアクセス時間の短縮が図られたことに加え、通学路の整備が図られるなど、地区内の安全で良好な交通環境を創出することができた。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、土地区画整理事業による街路整備並びに周辺環境の整備を行い、安心して快適に暮らせる居住地域の形成を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	亀山北地区における人口（人）	
	最終目標値	1392人
	最終実績値	1760人
2	亀山北地区の災害時における一時避難可能人数（人）	
	最終目標値	3000人
	最終実績値	4254人
3	中郷・萩田地区における人口（人）	
	最終目標値	213人
	最終実績値	222人
4	中郷・萩田地区の災害時における一時避難可能人数（人）	
	最終目標値	1000人
	最終実績値	515人
		地区内の基盤整備による防災機能の向上に加え、災害時の避難場所を確保することを目標に、一時的な避難地として2箇所（3,300m ² ）の公園整備を計画したものの、物件移転の遅れから1箇所（1,600m ² ）の整備にとどまったため、目標達成には至らなかった。引き続き、移転補償の早期完了に努めるとともに、残り1箇所の公園整備を速やかに完了させ目標を達成できるよう進捗を図る。